

2018年度 アジア研究センター活動報告

2018年10月～2019年3月

講演会

●アジア研究センターの講演会

◆2018年11月8日(木)

テーマ:「北朝鮮経済のベールを剥ぐ」(Unveiling the North Korean Economy)

報告者: Byung-Yeon Kim 氏 (韓国、国立ソウル大学経済学部教授)

共同研究グループ主催による公開研究会

●研究グループ:「東アジアにおける安全保障秩序の変動」

◆2018年12月14日(金) (非公開)

テーマ:「冷戦後に本の東アジア安全保障秩序構想について」

報告者: 古賀 慶 (南洋工科大学助教授 シンガポール)

●研究グループ:「東アジアの国際経済・ビジネスの変遷と現状
そして今後の展望」

◆2018年11月21日(水)

テーマ:「ラオス経済の現状と課題」

報告者: 魚住 和宏 (神奈川大学アジア研究員、SCMソリューション
デザイン代表)

◆2019年1月30日(水)

テーマ1:「東京港の現状とオリンピックへの影響」

報告者1: 石原 伸志 (神奈川大学アジア研究員、神奈川大学経済学
部非常勤講師)

テーマ2:「邦船3社(Ocean Network Express)は
何故合併する必要があったのか」

報告者2: 合田 浩之先生 (東海大学海洋学部特任教授)

●研究グループ:「東アジアにおける東西文明の出会い或いは衝突」

◆2018年11月21日(水)

テーマ:「近世アジア交易と渡来染織品について」

報告者: 阿部 克彦 (経営学部国際経営学科准教授)

●研究グループ:「植民地国家と近代性: アジア諸国を中心とする
比較研究」

◆2018年11月24日(土)

テーマ:「従軍漫画家が描いた戦争と南方占領地」

報告者: 松岡 昌和 (立教大学アジア地域研究所特任研究員)

◆2019年3月22日(金)～3月23日(土)

「植民地国家と近代性」公開シンポジウム

テーマ1:「琉球併合と沖縄の近代」

報告者1: 波平 恒男 (琉球大学人文社会学部教授)

テーマ2:「帝国とナショナリズムの言説空間」

報告者2: 永野 善子 (所員 神奈川大学人間科学部教授)

テーマ3:「"Invisible Armies: Base Work and Transnational
Identities in Okinawa's Military Base"」

報告者3: ジョハンナ・ズルエタ (創価大学国際教養学部准教授)

テーマ4: 総合討論

報告者4: 梅崎 かほり (所員 神奈川大学外国語学部准教授)

●研究グループ:「アジア地域におけるサプライチェーンリスクマネジ
メントに関する研究」

◆2019年1月11日(金)

テーマ1:「ハラル・エデュケーショナル・ツーリズム: その潜在力と展望」
(Halal Edu Tourism: Potential and Prospects)

報告者1: Siti Hawa Radin Eksan
(神奈川大学アジア研究センター客員研究員
マレーシア, セランゴール国際イスラム大学 (KUIS)
シャーリア・法学部 講師)

テーマ2:「ハラル・サプライチェーン: その独自性と複雑さ」
(Halal Supply Chain: The Uniqueness and Complexity)

報告者2: Mohd Helmi Ali
(神奈川大学アジア研究センター客員研究員
マレーシア, マレーシア国民大学 (UKM) 経済・経営学部
シニア講師)

テーマ3:「フード・テクノロジーのハラル製品への活用」
(Correlating Food Technology and Halal products)

報告者3: Norhidayah Suleiman
(マレーシア, マレーシア・プトラ大学 (UPM)
食品科学技術学部 シニア講師)

●研究グループ:「アジアの政治発展」

◆2019年2月1日(金)

テーマ:「ポピュリズムの概念史——その理論的課題」

報告者: 吉田 徹 (北海道大学法学部教授)

※所属・職名は2019年3月現在

